

レ・クレドール ジャパン会報誌 “キー・ニュース”

Les Clefs d'Or Japan

Key News



2022年4月

第54号

発行：住吉真矢子

編集：田中英司 今泉愛子 嵯峨崎のぞみ

Website : lesclefsdorjapan.com



Les Clefs d'Or Japan



[lesclefsdorjapan](https://www.instagram.com/lesclefsdorjapan)

茨城県視察

文：次田名緒子

2022年2月19日、日本で初めてアメリカに渡ったさしま茶と隈研吾建築をめぐる旅（茨城県MUSUBI Travel 様企画、観光庁関連事業）に野武、端谷、次田の3名が参加いたしました。事前にPCR検査キットが届き検査、陰性の報告、そして事前にAXUS TRAVELアプリをダウンロード。このアプリで旅程表が確認でき、メッセージのやり取りもタイムリーに可能となるこれからの旅のスタイルを実感しながらFam Tripが始まりました。



訪れる場所の詳しい説明を車中で受けながら、約1時間30分。境町に入ると地方自治体で初めて導入した自動運転バスの運行に遭遇しました。1839年から続く吉田茶園に到着。驚くほど爽やかでフレッシュな幻の品種いずみのお茶で一息。茶畑を散策しウッドデッキにてお茶のペアリングを体験。焙じ茶焙煎体験では香ばしい香りに癒されます。

次は長野園直営CHABACOへ、こちらは隈健吾氏建築の建物であるモンテネグロ会館に併設されているカフェ。幕末にペリーが来航した際に地元の藩士とアルゼンチン人船員が交流したことが会館開設のきっかけです。そのような趣のある空間で12種類にも及ぶ和紅茶テイस्टィング。香りだけで一巡し、次はスプーン一杯を味わいます。それぞれの個性が感じ取れるような気がしながら、自分のお気に入りを見つけます。オーナー厳選で昨日出来上がったばかりの和紅茶とビーガンランチは地元食材をふんだんに使用、先ほど選んだ和紅茶と素晴らしく美味しいコーススイーツも完食しました。

食後は隈研吾建築を5か所めぐります。道の駅併設さかい河岸レストラン茶蔵、東京ではおなじみのウルフギャングの鉄板焼レストラン。朝から行列のできる地元で人気のさかいサンド。HOSHIIMO 100CAFEは干し芋の繊維をイメージされた外観。S-Lab 境町の新たな特産品として干し芋やワインを商品開発し発信する施設。S-Galleryは肅燦寶の作品を展示するギャラリーです。小さな空間の集合体は、時としてユーモラスなほどに人間味溢れる画風と響きあっています。

最後に利根川土手で向こう岸に関宿城を眺めながら夕暮れの景色を楽しみました。

日本ではお茶といえば緑茶ですが、それだけではなく、和紅茶の産地に訪れたいというお客様が増え、ご案内できる日が近いと確信できる学びの一日でした。

観光庁事業報告

上質なサービスを求める観光客への対応能力強化に向けた地域研修事業

観光庁「上質なサービスを求める観光客への対応能力強化に向けた地域研修事業」にレ・クレドール ジャパンとして関わり、2021年に住吉が三重県那智勝浦、奈良県吉野に実際に訪問し、現地での研修に講師として参加をいたしました。2022年3月15日にはこの事業に該当する10地域の皆様が参加された研修報告会がパレスホテル東京で開催されました。各地域の活動報告後のネットワーキングには、レ・クレドールメンバー5名も参加し、各地域の皆様と交流を図ることが出来ました。間もなくインバウンドのお客様もお戻りになりますので、今後のご案内に今回のご縁を生かしていきたいと思っております。



上質なインバウンド体験を提供するガイド育成事業



レ・クレドール ジャパンは昨年度に続き、「上質なインバウンド体験を提供するガイド事業」に、ワークショップや実地研修を通じてホテルコンシェルジュとしてガイドに期待することや、お客様が求めていらっしゃることを共有して参りました。

2022年3月17日、本事業の集大成として、事業に参加したガイド、トラベルデザイナー、コンシェルジュのネットワーク交流会が国際文化会館にて開催されました。

今年の事業参加のガイドは50名。高い目的意識を持ったガイドさんたちとの出会いと交流は、私たちコンシェルジュにも非常に刺激的で、有意義なネットワーキングの機会となりました。

National Parks of Japan Kushiroshitsugen National Park 釧路湿原国立公園



写真提供：環境省

日本最大の湿原と壮大な蛇行河川、 それを育む森

指定：昭和62年7月31日
面積：28,788ha
北海道

 Les Clefs d'Or Japan
作成者: Rise Kamei ● - 2月5日 - ●

ORIGAMI is the traditional Japanese art of paper folding which translates to: ORI meaning "folding" and GAMI meaning "paper". The Orizuru or paper crane is one of the most classic design of Origami. The Japanese considered the crane to be a symbol of longevity, peace and good fortune.

To witness the cranes in the wild, one can journey to Kushiroshitsugen National Park which is Japan's largest natural marshland, located in the prefecture of Hokkaido. Here you will have an oppo... もっと見る



写真提供：環境省

 lesclefsdorjapan ・ フォロー中
オリジナル音源

 lesclefsdorjapan ORIGAMI is the traditional Japanese art of paper folding which translates to: ORI meaning "folding" and GAMI meaning "paper".

The Orizuru or paper crane is one of the most classic design of Origami. The Japanese considered the crane to be a symbol of longevity, peace and good fortune.

To witness the cranes in the wild, one can journey to Kushiroshitsugen National Park which is Japan's largest natural marshland, located in the prefecture of Hokkaido. Here you will have an opportunity to view the Red-crowned Cranes which are designated as a National Special Natural Monument. The cranes are best seen in the winter as they gather at winter feeding sites such as Tsurui village. 😊

<https://www.env.go.jp/en/nature/nps/park/kushiro/index.html>

Les Clefs d'Or Japan is an official partner of National Parks of Japan.

日本の伝統文化「折り紙」
そこでよく登場する鶴は、長寿や平和、縁起物の象徴として日本では考えられています。
優雅に空へ羽ばたく鶴の美しい姿を見たことはありますか？ 日本最大の湿原「釧路湿原国立公園」は、国の特別天然記念物であるタンチョウが一年を通して生息しています。特に冬は、鶴居村などの給餌場に行くと美しいタンチョウの群れに出会うことができます！ 😊

世界中の人が鳥のように自由に飛びまわれる日常が1日も早く戻ってきますように...+

釧路湿原国立公園 写真提供：環境省

National Parks of Japan Setonaikai National Park 瀬戸内海国立公園



photo by asako koike

輝き続ける島と海

-自然と暮らしが調和する内海多島海景观-

指定：昭和9年3月16日

面積（陸域のみ）：66,934ha

大阪府、兵庫県、和歌山県、岡山県、広島県、山口県
徳島県、香川県、愛媛県、福岡県、大分県



Les Clefs d'Or Japan

4月1日 午後10:18

Embark on a journey to feel a gentle sea breeze on the islands of Sun-kissed Setonaikai National Park! Now, the Geiyo islands are dyed in beautiful Cherry blossom color.

Les Clefs d'Or Japan is an official partner of National parks of Japan.

<https://www.env.go.jp/en/nature/nps/park/setonaikai/index.html>

瀬戸内海の芸予諸島も春真っ盛り！桜の花も満開を迎えました。太陽輝く瀬戸内の島々で春の潮風を全身で感じてみませんか！🚲🚲🚲

#国立公園 #瀬戸内海国立公園 #しまなみ海道 #桜



国立公園
オフィシャルパートナー



レ・クレドール ジャパンは
国立公園のオフィシャル
パートナーです。

Getting to know our members !

グランドニッコー東京 台場

竹内 郁代 *Ikuyo Takeuchi*

■ コンシェルジュ歴 : 25年

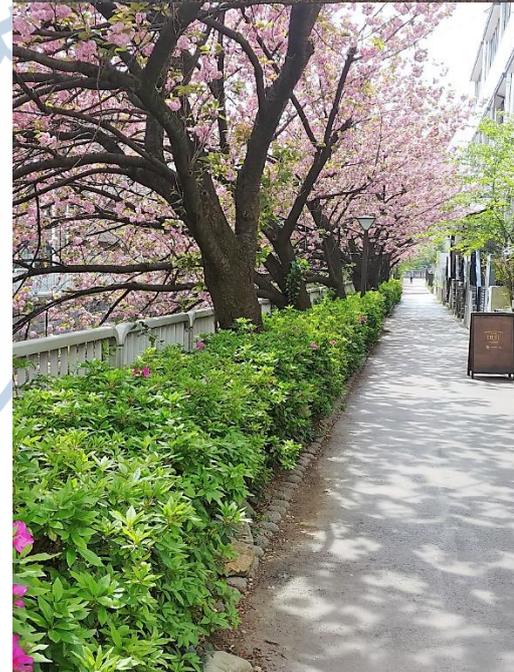
■ クレドール歴 : 20年

■ **ホテルのハイライト:** グランドニッコー東京台場は、東京湾上のお台場にあります。幕末、ペリー来航に備えて作られた砲台（通称：御台場）が地名の由来です。都心から、ゆりかもめ線でレインボーブリッジを渡ること15分、コンセプトの「東京を楽しむ、東京をくつろぐ」を体感できる場所です。客室は自然と調和するカラーを中心に展開し、窓からは、天空から見下ろしたような大パノラマが広がっています。夕暮れ、光のグラデュエーションが星くずのような夜景に変わる時が最も美しい瞬間です。

■ **休日の過ごし方:** お休みは視察を兼ねて外出することも多かったのですが、ここ1~2年は自宅待機のため、本を読む時間が増えました。元々活字が好きで、ジャンルも様々ですが、新聞に連載された宮部みゆきさんの江戸の怪談語りを読んでから、時代物の奇談、ミステリーも好きになりました。連載は「三島屋変調百物語」といい、後に文庫本でもシリーズ化されました。

■ **とっておきの場所:** 特別な場所というより「街歩き」が好きで、特に銀座や中目黒の雰囲気馴染みます。銀座には今も歴史あるビルや、シンボルの柳の木が残る通りがありますし、少し足を延ばして新富町に向かえばレトロ&ポップな界隈に、ブランド街のイメージを裏切る楽しさがあります。中目黒は小さな街ですが、いつも「新しい何か」があり話題のお店の前の「長い長い行列」も健在です。スターバックスの新形態の店舗ができた時は、アジア圏のお客様にもずいぶんお尋ねいただきました。そして一番素晴らしいのは目黒川沿いです。ソメイヨシノが終わり八重桜が咲く頃は、初夏のヨーロッパの街並みのイメージがあり、心穏やかにゆったりと散策を楽しめます。

■ **好きな映画:** プリティウーマン(1990年12月公開)を見たとき、とてもお洒落な映画だと思いました。この映画は今もカリフォルニアにある、Beverly Wilshireホテルが舞台となっており、ホテル支配人（お人柄か、長い間この方の仕事はコンシェルジュだと思っていました）がとても印象的でした。また、ホテルの魅力を知ったのもこの時でした。



ザ・プリンスギャラリー東京紀尾井町ラグジュアリーコレクションホテル 桃井 忍 *Shinobu Momoi*

■ **コンシェルジュ歴** : 22年
■ **レ・クレドール歴** : 13年

■ 所属ホテルのハイライト

ロビーで最初にお客様をお迎えするのが、スカイギャラリーラウンジ・レヴィータ。野口真理さんの作品であるガラスアートが、滝のようにこのレヴィータに流れ込み、どの時間帯も美しい東京の景色を映します。私の一番のお勧めはサンセットの瞬間。その時、窓の外に広がるオフィスビルはくっきり影を落とし、緑に光るガラスの滝は、異空間へと私達を導きます。フォトスポットとしてもお勧めの場所なので、こちらで景色を眺めるお客様にはいつもお声がけし、写真を撮って差し上げています。

■ 休日の過ごし方

私は「きき」という名前のらんちゅうを飼っています。4年になりますが、5センチくらいの大きさだったこの子が、今では15センチくらいになりました。水替えをしたり、その他は、野の花を生けるのが好きで、花屋を見て回ったりします。途中、陶器のお店があると寄ってみます。また、素敵なカフェがあるとゆっくりします。最近は一人か、母と過ごすことが多くなりました。母の好みに店に立ち寄ってみると、意外に素敵な店を見つけたりします。

■ とっておきの場所

ホテルが開業した翌年の春、ホテルは多くのお客様で賑わいました。ソメイヨシノの季節が終わり、コンシェルジュデスクも一段落。私は久々に、近隣の店が開いている時間に仕事を終えることができました。ホテルのある紀尾井通りの向かいにはオーバカナルというブラッスリーがあります。一人でテラスに腰かけると、目の前には満開の八重桜、関山。こんな近くに絶好のお花見場所を見つけました！やはりデスクにいるだけでは仕事にならないのがコンシェルジュです。ほんの1時間くらいでしたが、自分自身に戻れる時間を過ごしました。

■ 一番好きなホテル映画

5%の軌跡 (Mein Blind Date mit dem Leben) 主人公のサリーはラグジュアリーホテルで働くことを夢見ています。そんな中、病により95%の視力を失ってしまいます。病を隠してラグジュアリーホテルで研修生として働き始め、仲間の協力も得ますが、研修は厳しい。サービスにおいては、どんなに小さなグラスのくもりも許されません。自分に妥協はできません。コメディ要素を多く含みながらも、求められるものの高さを再確認する映画でした。



オンライン定例会報告

3月

◆プレジデントの住吉氏より、公益社団法人東京観光財団が運営するTokyo Luxury Authorityのアドバイザーとしての活動についての報告がございました。今回は都市農業と和イタリアンというテーマで、都内の牧場や畑の視察や、江戸食材を利用したイタリアンと、東京の日本酒のペアリング等の体験。また、町工場の見学や、御岳山での新しい過ごし方の提案を通じて、まだ知らない東京の魅力を深堀する機会となったとの報告を受けました。

◆アフィリエイトからの報告では、ロシア問題によるガソリンの値上がりや、カニの提供が出来なくなる等、ハイヤー会社やレストランへの影響が出始めていると共有頂きました。一方明るい報告として明海大学では4月から対面授業の全面再開とのニュースもありました。

◆田中英司氏より、ロンドンでレ・クレドールGBのメンバーとして活動していた頃の話をしてもらいました。レ・クレドールジャパンでの活動との違いについてのお話は興味深く、今後レ・クレドール ジャパンでも新たに取入れられるイベント等色々と参考になりました。

◆田嶋氏より、株式会社アクティブワークが空港で展開するプレミアムVIPミート・グREETサービスについての説明がございました。VIPをお迎えする際には是非活用したいと思います。

4月

◆4月21日に年次総会がオンラインで開催され、2021年度の活動報告、会計報告、メンバーシップの報告、CSRの活動報告があり、また、2022年度の活動計画、予算、各メンバーの役割分担等の発表を行いました。

その後、定例会に移り以下の点について報告がありました。

－5月の定例会の開催を対面とオンライン両立のハイブリッド方式で検討中。

－モロッコ・マラケッシュで5月11日から14日までBoard Of Director Meetingがハイブリッド方式で開催決定。プレジデントの住吉とヴァイスプレジデントの今泉は現地には赴くことが出来ないため今回はオンラインで参加予定。

－協会ホームページの先月のアクセス数は1193件。FacebookやInstagramでは引き続き国立公園の魅力を配信中。

－今年の11月にレ・クレドールジャパン創設25周年を迎えるにあたり、イベントを計画。

◆定例会中、メンバー同士近況報告を交わしました。東京では少しずつ外国人のお客様が増え始め、コンシェルジュ業務に携わることが多くなってきたと報告がありました。嬉しい変化だが、久しぶりの業務で慣れないところがある事、限られた人数のまま多くの対応をせざるを得ないのが課題。地方は全般的に引き続き静かな状況。飲食業界や小売店は東京でも引き続き全般的に静かな状況など、客足が戻りつつある希望と課題が混在していました。

◆メンバーのアキル・ティワリ氏より、フォーシーズンズホテル丸の内東京のSDGsへの取り組みについて紹介がありました。F&Bでのプラスチック廃止プログラム、HousekeepingやEngineeringでの環境保全プログラムの他、HRでの従業員に対する賞賛プログラム、コミュニティへの貢献プログラムなどの報告がありました。

